



かわにし

川西高等特別支援学校
学校だより 第30号
令和5年4月21日

安心して活動できる学校づくりを目指して

校長 名川 由里子

春の日差しが心地よく、日ごと新緑が深まる季節になりました。新入生13名を迎え、全校生徒43名で開校6年目の新年度が始まりました。最初の1週間の様々な活動を経て、4月17日(月)には新入生歓迎会で全校生徒の交流が行われました。2,3年生が新入生のために歓迎のダンス、学校紹介、自己紹介をする姿は頼もしく、練習してきた自信と後輩への優しさが感じられました。新入生も、各自の自己紹介を立派に発表しました。今後、新入生があせらず自分のペースで本校での学校生活に慣れ、授業や活動に集中して取り組めることを願っています。生徒達が元気に活動できるよう、職員一同、生徒達の指導・支援に全力を尽くします。

さて、今年度はコロナ禍後の新たなスタートの年、とも言えます。様々な規制が緩和される予定ですが、残念ながら新型コロナウイルスは根絶されてはいないので、学校内外の教育活動を再開・充実させていく際には、今後も必要な感染防止対策を継続します。基礎疾患のある生徒や医療的ケアが必要な生徒も全員が安心して学べる学校づくりのため、どうぞご協力を賜りますよう、お願いいたします。

また、今年度も、県の施策である「GIGAスクール構想」に基づき、授業における一人一台端末(タブレット)の活用等、ICTの積極活用を進めます。生徒が、他の生徒や教職員、地域の方々と心つながり、夢を分かち合っ

て一步一步前進し、達成感を持って過ごせる学校づくりのため、保護者の皆様や地域の皆様との繋がりを大切にして日々の授業実践を充実させます。今年度も変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願いいたします。

令和5年度 グランドデザイン

教育目標 「夢をえがき 一步一步 前進する生徒」

目指す学校像

- 自立と社会参加に必要な知識、技能、態度を育む学校
- 一人一人のニーズに応じた進路を実現する学校
- 豊かな生活を送るための学びの場を提供する学校

期待する生徒像

- 将来の夢や目標を語ることのできる生徒
- 自他を認め自分のペースで歩む生徒
- 学びや体験をQOL向上に活かそうとする生徒

指導の重点

- ◆ 学校、教職員、地域の三つの力を結集し、夢をえがき一步一步 前進する生徒の学びを支える

◆ 生徒の学びを支える力

- ◎安心・安全な学校
危機管理・感染症予防対策と学習環境の整備、生徒が安心して学べる学校
- ◎専門性の高い教職員
生徒一人一人の個性を伸ばし、適切な支援ができる教職員
- ◎将来を支える地域
地域の支援者・資源の効果的な活用、関係機関・保護者との連携

主な取組

【安心・安全な学校】

- 様々な場合を想定した事前の事故防止の徹底
 - ・想定別避難・防災訓練と校外活動での安全対策
 - ・感染症予防対策による健康安全指導の充実
 - ・スマホ・SNS、性に関する教育・いじめ未然防止と人権教育
- 校内外の環境整備
 - ・清潔感ある校内の雰囲気
 - ・分かりやすい掲示類
 - ・校地・校舎の改修と有効活用
- 職場環境の充実
 - ・教職員の働き方改革推進
 - ・同僚性を高め、教育課題をディスカッションできる教務室
 - ・教職員の心身の健康保持による指導力向上

【専門性の高い教職員】

- 社会参加と自己実現を促す教育課程の編成
 - ・職業教育実践の充実と段階に応じた実習の設定
 - ・全職員による「打合せ→実践→反省→改善」サイクルによる授業改善
 - ・個別の指導計画・教育支援計画の作成・活用
- 研修の充実
 - ・タブレット等ICT機器活用の推進とリテラシーの理解
 - ・障害の病理や特性などの基本研修の実施
 - ・魚沼教育フェスタ参加を始めた他校との合同研修実施
- 特別支援教育におけるセンター的機能の発揮
 - ・共生社会実現の視点
 - ・小中等学校等のニーズに応じた支援
 - ・HP掲載やメディアへの取材依頼等による積極的な情報発信

【将来を支える地域】

- 福祉、労働、医療機関等と連携した進路指導
 - ・就労支援、生活支援及び移行支援の充実
 - ・支援会議、ケース会議等の設定と協力依頼
 - ・ニーズに応じた進路先の開拓
- 中学校等との連携
 - ・十日町市及び津南町特別支援教育中高連携事業の取組
 - ・定期的な就学・進路相談会の開催及び情報発信
 - ・中学校訪問説明会実施による高等部の理解促進
- 地域の資源を生かした教育活動の充実
 - ・スポーツクラブ等外部機関との連携
 - ・芸術祭等への参加・協力
 - ・余暇活動への支援



転出入職員のご挨拶

《令和4年度末 転退職員》

8名の教職員が転退職いたしました。

遠藤 知子 教頭

この3年間で、明るく個性豊かな生徒の皆さんと熱心な先生方に元気をもらいました。ありがとうございました。4月からは長岡にもどり母と過ごします。お世話になりました。

<退職>

岩井 晶子 先生

素敵な個性をもった生徒のみなさんにエネルギーをもらった5年間でした。たくさん勉強させていただきました。川西高等特別支援学校は、私にとってかけがえのない大切な学校になりました！

転出先：南魚沼市立総合支援学校

木嶋 智子 先生

「挨拶、返事、失敗を恐れない、迷ったら正しい方を選ぶ、自分を励ます」等々...みんなに言い続けたことを私も頑張ります。皆さんも一步一步前進してください。5年間大変お世話になりました。

転出先：長岡市立高等総合支援学校

村田 敏恵 先生

明るく素直な生徒と出会い、今までにないくらい1年間があつという間に過ぎてしまいました。毎日が充実していて、学校に来ることが楽しかったです。お世話になりました。

<退職> 転出先：十日町市立ふれあいの丘支援学校

松原 和子 先生

半年間という短い期間でしたが、素直で明るい子ども達と楽しく過ごすことができました。大好きなこの学校で通算7年半勤務して、沢山の力をいただきました。お世話になりました。

<退職> 転出先：県立小出特別支援学校

三宅 克也 学校技術員

月日の経つのが早く、4年で退職し、再任用されてこのままお世話になるつもりでしたが、転勤を命ぜられました。まだまだやりたいことがありますので、何年後には戻ってくるつもりです。

<転出先> 県立十日町高校

皆川 勇斗 ICT支援員

日々新たなことを学び問題を解決していくこの仕事が本当に好きで、これからも！と思っていたのですが、なんと時間が来てしまいました。

1年9か月、皆さん本当にお世話になりました！

<退職>

村山由香子 学校事務員

この度、5年の任期満了を迎え、4月から引き続きお世話になることになりました。就学奨励費の担当者として、これからもスムーズな事務を遂行していきたいです。よろしく願いいたします。

<任期満了・再採用>

《令和5年度 転入等職員》

村山 哲 教頭

前勤務先：妙高市立総合支援学校

十日町市は中学校勤務時代に、クロスカントリースキー、陸上競技の大会引率でお世話になりました。生徒の皆さんの学校生活が充実したものになるように教職員と協力して、様々な活動に取り組んでまいります。よろしく願いいたします。

大塚 典子 先生

前勤務先：十日町市立ふれあいの丘支援学校

侍ジャパンの栗山監督、大谷選手、ヌートバー選手たちからパワーをもらった春休みでした。

一日一日を大切にしながら、皆さんと一緒に笑顔で頑張りたいと思います。よろしく願いいたします。

小川原 ひと美 先生
産休・育休より復帰

約1年半ぶりに戻ってきました。またみなさんと一緒に勉強できることを楽しみにしていました。改めてよろしくお願いいたします。

有井 晴香 先生
前勤務先：県立佐渡特別支援学校

佐渡から船に揺られてやって来ました！初めての場所でドキドキしていますが、皆さんと一緒に、毎日、楽しく・元気に過ごしていきたいと思えます。よろしくお願いいたします！！

黒岩 夏美 先生
新採用

川西特別支援学校の校歌の「ともに笑顔で支え合う」という歌詞がとても素敵だなと思いました。新たに出会う皆さんと共に、笑顔で過ごしていきたいと思えます。よろしくお願いいたします。

関谷 幸子 学校看護師
新規採用

初めての学校現場に毎日ドキドキしています。自分のできる事を精一杯頑張りたいと思えますので、よろしくお願いいたします。

山賀 浩一 技術員
新規採用 前勤務先：県立松代高等学校

まだ、学校に来たばかりで分からないことがたくさんあり、一生懸命頑張っていきますので、よろしくお願いいたします。

令和5年度 第六回 入学式

4月10日（月）に、13名の新入生を迎え、第六回入学式が行われました。1年生はどの生徒も緊張した面もちで式に参加し、学年主任の呼名に返事をする場面では、それぞれが自分のできる精一杯の返事をしており、これから始まる生活への意気込みが伝わってきました。その立派な姿の一方、恐らく心の中はまだまだ不安も入り混じった状態であったのではないかと思います。新入生が、一日も早く生き生きと学校生活を送れるよう、職員一同全力でサポートしていきます。

当日は、関係機関から大勢のご来賓の参加をいただき、大変ありがとうございました。43名の生徒と教職員全員で、令和5年度のスタートを切りました。今年度も、よろしくお願いいたします。

